

令和 4 年度行政評価外部評価の総括について

1 内部評価

業務担当課による評価

- (1) 事業評価票（A票）68事業
 - ア 予算体系の「大事業」を評価
 - イ 決算資料（地方自治法第233条の規定に基づく決算関係書類である主要事業の成果）
- (2) 施策評価票（S票）44事業
予算にかかわらず（予算を伴わない）重要な施策を評価

2 外部評価

- (1) 令和4年8月3日（水）
（外部評価実施者）石橋委員、田村委員、樋口委員、安立委員、近藤委員
 - ①生涯学習推進事業 [生涯学習課]
 - ②放課後児童クラブ事業 [子ども未来課]
- (2) 令和4年8月5日（金）
（外部評価実施者）田村委員、室委員、岡崎委員、細萱委員、近藤委員
 - ③清掃事業 [環境課]
 - ④児童発達支援センター事業 [子ども家庭課]
- (3) 令和4年8月8日（月）
（外部評価実施者）石橋委員、岡崎委員、細萱委員、安立委員、近藤委員
 - ⑤防災事業 [安心安全課]
 - ⑥地域福祉推進事業 [福祉課]
- (4) 令和4年8月9日（火）
（外部評価実施者）室委員、樋口委員、安立委員、近藤委員
 - ⑦リニモテラス事業 [たつせがある課]
 - ⑧緑化振興事業 [みどりの推進課]

3 外部評価の傍聴者数

延べ16人

4 外部評価の周知方法

市ホームページ及び市広報紙で事前周知。開催結果は市ホームページで周知。

5 外部評価開催概要

資料 1 - 2 のとおり

6 外部評価実施者コメント

事業担当課に対応を依頼し、次年度予算等への反映状況を取りまとめ、次回の行政改革推進委員会で報告します。

7 行政評価の課題等

～外部評価実施者の意見抜粋～

- 講座の満足度という指標値では、事業意図である市民の学習意欲の向上が達成できたかが分からない。事業意図と課題の構造を考え、目標が達成されたかどうかの指標を示すことができるようにしてほしい。(生涯学習推進事業)
- スマイルポイントの導入によってどの程度ボランティア活動をする人が増えたのかが分からないので、事業意図である地域社会へ参加するきっかけ作りを達成する方法として、スマイルポイントの推進が効果的であったのかが判断できない。(地域福祉推進事業)
- 成果指標として、里山保全事業イベント参加者数とあるが、イベントに参加することと、放置されたところを整備することでは、レベルが違う。事業意図は整備が進むことではないのか。(緑化振興事業)
- 指標値の根拠は適正なのか。目標を立てる上では、根拠を明確にして進めてほしい。(防災事業)

課題

成果指標の設定が事業意図とつながっていないので、客観的な評価ができない状態である。

【今後】

- ・成果指標は事業意図とつながるアウトカム指標とするよう、研修等で支援する。
- ・行政評価を担当課にとって予算、事業見直しに反映させやすいツールとするため、行政評価票のフォーマットや二次評価の方法を工夫する。